

イエスはまなり



日本クリスチャン・アシュラム連盟

日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創設されたキリスト教の新しい祈禱運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕 134号

クリスチャン・アシュラムとは 小島 十二



「朝早く、夜の明けるよほど前に、イエスは起きて寂しいところへ出て行き、そこで祈っておられた。するとシモンとその仲間とが、あとを追って来た。

マルコによる福音書一章三十五、三十六節

クリスチャン・アシュラムとは、真のクリスチャンとして生かされる道です。

今も活ける主イエスを告白し、主を唯一の先生として、そのもとに集まる弟子たちの交わりです。昔弟子たちが、主イエスの後を追ひ、彼に習ひ、主イエスが父の声に従って生きることを学んだように、今日の弟子であり、世に遣わされた地域教会の力と愛の基礎の確認と確立、実践修練がアシュラムです。

イエスと共にある。そしてイエスの様になる、イエスの力で生きる、イエスの光の中を歩くことは、幸いな救い主の証人となること間違いなしであると思う。

その実現は、ただ一つ毎朝寂しいところすなわち・折りの場にて、御子イエスの名による祈りの交わりに与る以外にはない。イエスとの全人格的交わりがあれば、イエスに似たものとなり、天父のみこころを知り、その喜びに満たされるようになるのです。自分の計画や努力を積み上げるのではなく、父の御心と喜びに支配されたイエスの証人の真の姿となるのである。この知恵と喜びは、博学、雄弁、犠牲的努力などから産みだし得るものではない。何も無い者に上からの聖霊に導かれて始まることだからである。

ここで注意されることは、真の自分の必要を求め告白することからです。基督者の交わりは、互いの真実のために祈るのです。そして肉にあるすべての罪がゆるされ、まとわりつく罪の力に勝利する証の霊に満たされて、各の十字架を負って、悪の霊に虜となっている人の解放を見るまで戦い進む愛の実践です。ロマ手紙七章十八節～八章十一節

「あなたがたの中に苦しんでいる者があるか。その人は祈るがよい。喜んでいてる人があるか、その人は賛美するがよい。あなたがたの中に、病んでいる者があるか、その人は教会の長老たちを招き、主の名によって……祈ってもらうがよい。信仰による祈りは、病んでいる人を救い、そして、主はその人を立ち上がらせて下さる。かつ、その人が罪を犯していたなら、それもゆるされる。だから、互いに罪を告白し合い、またいやされるようにお互いのために祈りなさい。義人の祈りは、大いに力があり、効果のあるものである……。」ヤコブの手紙五章十三～二十節

(関西支部・日本イエス・キリスト教団芦屋川教会牧師)

霊 想



主よ、祈る者とならせ給え
西川口教会牧師

島 隆三

「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。」(マタイ六・三十三)

二年前前からブルース・ウィルキンソン著「ヤベツの祈り」が評判になって、日本でも多くの人に読まれ、この祈りを実践して祝福されているという証を耳にしている。アメリカでは八〇〇万部を超える大ベストセラーと聞いて驚いた。これは、歴代誌上四章十節にあるヤベツの祈りを毎日祈るといふ単純なことである。それによって、ヤベツが祝福されたように、私たちも祝福されるという。皆さんはこのことをどう思われるだろうか。

もし、ヤベツの祈りを祈ることが祝福の秘訣だとしたら、そのことを教えなかった牧師の責任が問われることになる。これは大変だと思った。私は、この本を読むまで歴代誌のヤベツの祈りは心に留まったことがな

かった。従って、信徒の皆さんにも一度も語ったこともない。それは牧師の不注意と怠慢ということになるのだろうか。

そこで、もう一度この小さな本を読んでみたが、冒頭の有名な主イエスの言葉とこの著者の奨めの間に何の矛盾もないことを確認して安心した。主イエスは弟子たちの「私たちにも祈りを教えてください」という求めに「主の祈り」を祈ることを教え、また、山上の説教でも、「主の祈り」を祈れという奨めの後に、祈りの鉄則とも言うべき冒頭の言葉を語り、それに続いて「求めなさい。そうすれば、与えられる。…」という有名な積極的祈りの奨めを語られた。この流れが大事であって、弟子たちに、まず「ヤベツの祈り」を祈れとは言われなかった。主イエスの言葉以上の祈りの奨めがあるとは思われない。

スタンレー・ジョーンズは「いかに祈るか」の中で、次のように奨めている。

「第一に、神を得ることです。神を得たなら、他のすべては伴います。私は、めったに物を願い求めません。私が神を持っているなら、私が要するものは、すべて添えて得られることを知っているからです。心を静めることは、神があなたに來られ、進入し、占領することを許すことです。

神はその時、神の祈りそのものを、あなたを通して注ぎ出されるので、それは神の祈り…神によって発せられ、したがって、神によって答えられる祈りです。」

私は自らを省みて、いかにも祈る心に乏しく、スタンレーのように「もし一つのことを求めよと言われたら、主よ、祈り心」と祈らざるを得ない者であるが、そういう祈りの乏しい者でも、早朝、主の前に心を静め、主の祈りを心に称え、まず、主ご自身を祈り求めていくとき、心充たされ、必要はすべて与えられることを確信することができる。

では、なぜ、「ヤベツの祈り」のような単純な祈りの奨めが爆発的に求められ、ブームにまでなったのだろうか。それは、祈ることがいかに困難で、多くのキリスト者実践されていなく、証左ではなからうか。「主よ、祈る者とならせ給え」と祈らざるを得ない。

期 待



ひと筋の道

裾野坂上キリスト教会牧師

佐野 勇松

山があるから登るんだ、とは登山家の言葉として知られている。私事になりますが、弟も山が好きで日本百名山登山を目指し励んでいたが、腎臓癌で手術をしても術中に終わりになる可能性が高い、と知らされ、何と言葉をかけたら良いか迷いつつ見舞った。山はどうだったと声をかけた処、これが余命幾日と告げられた人かと思う程嬉しそうに山の楽しさを語ってくれた。聞き乍ら私は信仰についてこんなに楽しそうに人に話したことがあるだろうかと反省した。

今日与えられた聖書はマタイ福音書二十八章十六・二十節はこの書の最後で、復活のイエスが弟子を派遣する処です。皆さんは何を感じますか、何を受けとめましたか。静聴、聖言葉に静かに耳を傾け聴くのが私たちの集まりの目的です。私の気づいたことを話します。ここでは「みんな」を示す言葉がある、十八節に「天においても地においても」と天地すべてを言っており、続いて「一切」二十節にも「いつも」と言われている、これは何の割引きのないすべての根本で、すべての国の人に一切の事柄を教えよ、これはいつでもどんな時でもと言うのです。これは大切な事を示している。なぜなら、イエスは「よみがえり」復活の主は「全天地」「全世界の主」となられた

のです故にこのような命令を出されたのです。そして今も生きて世界の歴史と私たちの生涯を導いてくださることを信じるのがキリスト信者である。しかし目を世界に向けてと戦争があり、飢饉で生活が脅かされている人がある。私自身にも貴方の生涯にも時には思いがけない災いに、不安にさらされることがある。山男は山があるから登る、私たちは神によりすべてが造られたことを知ったから神を造り主として信じる。さらに「私は世の終わりまでいつもあなたと共にいるのである」との約束を信じて生きていく者である。

次に「主」が弟子の生き方を教え示している、十九節「それゆえに」とある、総ての権威を持つている「主」が私たちに「行く道を示す」と言うのです。「行って」「弟子とし」「バプテスマを施し」「教えよ」などである。この一連の教えを「一筋の道」イエスを「主」と仰ぐ者が主に従い主と共に歩んで行く道です。私たちの「主」は「行って何々をなさい」とよく言われた。弟子の道によき実践者であったパウロは「御言葉を宣べ伝えよ、時が良くても悪くても、それを励み」(テモテの手紙の四章二節)と書き残している。これらはすべて「行って」からすべてが始まります。しかしこの「行って」はどこかに出かけると言うの

でなく、出発の決断です。心の持ち方の変化である「主」に送り出され主に従う生き方を始めることのはじまりです。主に送り出され主に従うとは自分さえ信仰すればよいのではなく、「時がよくても悪くても」信仰一筋の道を完うすることであると信じます。

第三十八回九州アシュラム報告

岡山 敦彦



第三十八回九州アシュラムは、九月二十二日〜二十三日、「美しい・

静かな・革命」の主題のもと、今年も福岡県宗像市にあるカトリック黙想の家で行われました。参加者は二十五名で、とても恵まれた集会となりました。今回は、日本アライアンス教団・呉アライアンス教会牧師の小宮山林也先生を助言者としてお迎

えし、三回の「福音の時」でお勧めをいただきました。先生はいわゆる「榎本アシュラム」で素晴らしい働きをしておられます。例年出席される方々の人数が気になりますが、今回四名の方が初めて参加してくださいました。また九州アシュラムにはどんなことがあっても、万難を排して必ず出席する信仰の友がおられます。

今回は、小宮山先生を選んでくださったテーマ「美しい・静かな・革命」で話してくださいました。このことは、アシュラムの創始者スタンレー・ジョーンズ先生が来日されたときに語られた言葉だそうです。

革命というと何か暴力が伴うもののように思われますが、アシュラムでは、キリストにあつて私たちが、また教会が美しくまた静かに変えられることだと学ばせていただきました。今回、小宮山先生によって教えられたことは、伝道、牧会、教会形成の中でアシュラムが実践されていることでした。先生の牧会されている教会からも三名の方が同行して、参加されました。信徒の方が毎日のデポジションを大切にし、主と交わることを徹底的に訓練されている姿を見て、とても教えられました。

一つ計報です。九州アシュラムの初期から関わりを持たれ、委員長もなされたことのある山本繁夫先生

(日本基督教団・門司大里教会・元牧師)が、九月十七日、主の元に凱旋されました。九十三歳でした。アシュラムを愛し、アシュラムのために尽力して来られた先生を天にお送りしたことはたいへん寂しいことです。しかし先生の残された遺産をしっかり引き継いで、九州アシュラムをもっと素晴らしいものに発展させていくことを願っています。

二〇〇四年は九月十九日〜二十日と決まっています。多くの方が参加されることを今から願ひ主に期待しています。

第三十七回関西アシュラム報告

小林 勝



第三十七回関西アシュラムは、十

月十二日・十三日に西大津皇子が丘にある国際交流セミナーハウスにて開くことができました。この場所は自然に囲まれた、閑静な場所にあり、関西アシュラムが借り切つて毎年アシュラム集会を開いております。毎年参加される方々の幾人かはご都合が悪く不参加でしたが、新しく参加された数人の方々もあり、二十二名の集会となりました。第一日目「開会の祈り」を清水潔先生、「開心の時」を古河治先生、「福音の時」を杉田常夫先生に担当して戴き、連鎖祈禱に入りました。第二日目「朝の祈り」を南嶋一郎先生、「静聴と分かち合い」を辻中昭一先生、「労作の時」を佐野昌弘先生、「充滿の時」を金元治師に代わつて小島十二先生に担当して戴きました。十二日、十三日の二度にわたつて「祈りの細胞」の時を持ち、熱い祈りの一時を持ちましたことは感謝です。

今回も本部から木部安来先生がご参加されて、数年後に持たれる日本アシュラムの説明がありました。詳しい日時や場所は未定ですが、関東地方で開かれる予定だとお聞きしました。今から祈りの中に覚え、心の準備をしたいと思ひます。

この時期は牧師、信徒共に多忙な毎日を送っている中で、体の不調を覚えられて参加できなかった方々や教団の総会の為に来られなかった

人々がおられました。しかし、与えられた人数で力一杯のアシュラム集会をなさうと集会前の委員会では決意した為に牧師信徒の熱意が強く感じられる集会でした。どのような条件の下でも主の導きを受け入れて最善を尽くす姿勢を関西アシュラムは常に持ち続けて参りました。何が起つても今まで絶えず主のみ手が導いてこられたとの信仰が今回も関西アシュラムを支えました。委員長小島十二先生はじめ諸先生の献身的な努力により強い御霊を身に受けて、深い交わりの時を持ち、心熱くして散会しました。

第八回富山アシュラム報告
本多 英一郎



第八回富山アシュラムは毎年常宿となつているインテック大山研修所

で十月六・七日に行われました。富山市隣接の大山町の小高い丘の上にある修道院風の建物です。立山連峰を間近かに見て、静かな自然に囲まれた会場に入ると自ずと静聴の態勢を取らざるを得なくなるような恵まれた会場です。

助言者として日基東京新生教会横山義孝師が御奉仕下さいました。主題は「キリストへの明渡しと服従」。この人が何か言いつけたらそのとおりにしなさい(ヨハネ二・五b)」。開会礼拝では、クリスチャンは天国の婚宴に招かれている者、水(味気ない人生)がぶどう酒(味わい深い人生)に変えられる者であること、

そのような恵みの人生を地上で先取りさせていただいている者であることを示されました。この天の恵みを更に深く味わう為に、絶えず御言葉への飢え乾きの中で、恵みのかめがあふれるほどに一杯になるまで全力投球でキリストへの従順と服従の生活を整えてゆきたいと思ひました。得てして空っぽのかめに目を奪われ失望しがちな私達の目を、そのかめを一杯にして下さるキリストに向けることが出来ました。ヨハネ十四、十五、十六章を静聴し、受けた恵みを語り合い、互いの課題を祈り合いました。参加者十一名は聖霊に押し出されて、それぞれの教会で神と隣人に仕えるべく丘を下つて行きまし

た。

アシュラム予告

- ☆第三五回城北アシュラム
- ◆とき…二〇〇四年二月十一日(水)
- 於日本基督教団更生教会
- ☆第十一回東京新生アシュラム
- ◆とき…二〇〇四年二月二十一日
- (土)〜二十二日(日)

日本クリスチャン・アシュラム連盟
会計報告2003年(1月1日~6月30日)

収入		支出	
献金	城北アシュラム 30,000	キリスト新聞・広告料	16,275
献金	600	アシュラム誌印刷代(131-132号)	46,250
		アシュラム誌送料	13,150
		通信費	1,600
送料入金	470	事務費(封筒代)	1,207
寄附入金	9,600	慶弔費(山岸兄お花料)	10,000
郵便貯金利息	47		
小計	40,717	小計	88,512
前年度繰越金	853,431	次期繰越金	805,636
合計	894,148	合計	894,148

東京都目黒区中央町1の21の10
 碑文谷教会気付
 日本クリスチャン・アシュラム連盟
 振替口座 東京〇一〇〇一―四五五八
 理事長 大石嗣郎
 編集人 横山義孝
 定価 一部60円 千80円